

企画展

売薬版画

薬都富山の
浮世絵文化をさぐる



令和5年

7月1日 [土] — 9月24日 [日]

【前期】7月1日(土) — 8月18日(金)

【後期】8月19日(土) — 9月24日(日)

※前期と後期で全ての資料を展示替えいたします。

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
富山市郷土博物館

〒930-0081 富山県富山市本丸一上二 富山城址公園内
TEL 076-433-1791 FAX 076-433-1806
<https://www.city-toyama-toyama.jp/etc/muse/>



企画展

売薬版画

富山富山の浮世絵文化をよめる

江戸時代以来、富山売薬は「越中富山の薬売り」として全国に知られ、日本一の売薬業として発展しました。富山の町は売薬とその関連産業で繁栄し、現在も「薬都」と呼ばれています。その富山町で、江戸時代後期から明治時代にかけて浮世絵版画の文化が開花しました。実は、売薬と浮世絵版画、両者はとても密接な関係にあったのです。

江戸時代後期、富山の売薬さんは、得意先へ進物を配るようになり、その最初に登場した進物が浮世絵版画Ⅱ売薬版画でした。売薬版画は、全国の得意先に配られることから大量の需要が生まれ、このため富山町では数多く出版されたのです。富山の町は、江戸、上方に次ぐ「浮世絵版画の町」だったといっても過言ではないでしょう。

本展では役者絵をはじめ、名所絵や福神絵、武者絵、暦絵、玩具絵、相撲絵、花鳥画など、富山の町で出版され、売薬さんが全国の得意先に配った多彩な作品を紹介します。それらを通して、富山の浮世絵文化に触れていただければ幸いです。



松浦守美画「明石」(当館蔵) 【前期】



松浦守美画「中村芝翫の鉄ヶ嶽、沢村訥升の猪名川、岩井半四郎の女房おとき」(当館蔵) 【後期】



尾竹国一画「先代萩政岡忠義ノ場」(個人蔵) 【後期】



無款「福神大豊年収穫の図」(当館蔵) 【前期】

前期と後期で全ての資料を展示替えします。

(表面) 写真上より 無款「富貴豊之販」、松浦守美画「東海道五十三次之内、川崎・はら」、松浦守美画「尾上梅幸の梅川、沢村長十郎の忠兵衛」、豊原国周画「壇ノ浦兜軍記、阿古屋琴貴ノ段」、無款「忠臣蔵十一段」、尾竹国一画ノ鎌倉三代記、三浦館之段(いずれも当館蔵)

会期 令和5年7月1日(土)～9月24日(日)

【前期】7月1日(土)～8月18日(金) / 【後期】8月19日(土)～9月24日(日)

休館日 7月19日(水)、9月6日(水)

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

観覧料 大人210円(170円) 高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体料金

※この料金で、常設展示もご覧いただけます。

学芸員による展示解説会

7月15日(土)、8月26日(土)、9月24日(日)

いずれも午後2時より

予約不要、参加無料(ただし、入館料が必要です)

◆新型コロナウイルスの感染状況により、会期等を変更する場合があります。

常設展 富山城ものがたり

展示室では、400年以上の歴史を持つ富山城の歴史を、模型や映像も使いながら、分かりやすく紹介しています。また、4階の天守展望台からは、昔の富山城の大きさが分かります。

願海寺城跡から発見されたものも展示しています。

■アクセス

JR富山駅から徒歩約10分
 地铁バス「城址公園前」下車 徒歩2分
 市内電車「国際会議場前」下車 徒歩3分
 富山空港より連絡バスで20分
 北陸自動車道 富山ICより車で約15分

■駐車場

当館には専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。最も近いのは城址公園地下駐車場です。



富山市郷土博物館

TOYAMA MUNICIPAL FOLK MUSEUM
 〒930-0081 富山市本丸1-62 富山城址公園内
 TEL:076-432-7911 FAX:076-432-8060
<https://www.city.toyama.lg.jp/etc/muse/>